

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市広瀬文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 25,295人（前年度比 145.3%） ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、利用の自粛要請や新規の利用停止、夜間の利用自粛要請、カラオケを目的とした利用の自粛要請等を行った。 ・令和2年度 17,407人 ・令和元年度 44,238人	
	《事業》 ・施設の管理運営 ・自主事業の実施	
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 111,431千円（107,552千円） ・その他市が負担した費用 2,532千円（6,403千円） 《収入》 ・使用料収入 8,938千円（6,105千円） ・その他収入 115千円（102千円）	
	（ ）は前年度決算額	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施（令和4年2月1日～令和4年2月28日） ・「ご意見箱」の設置（通年） ・「ご意見カード」の配付（利用の都度）	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	ロビーやオープンスペースを活用した展示「マイギャラリーinひろせ」や、2階ミニステージでの舞台発表「マイステージinひろせ」は、地域の活動団体に発表の場を提供したり、市民の交流を促進したりすることに貢献しており、令和3年度は15件のイベントに約6,300人が参加・来場した。展示レイアウトの提案や広報等、発表を成功させるための助力を惜しまず、結果としてサークル活動の活性化や施設の利用促進に繋がっている。	27/24
II 施設の運営管理体制	定期的な巡回や点検、マニュアル整備等により、施設や利用者の安全に対し特段の配慮を心掛けており、実際に施設の不具合を早期発見するなど、事故防止に貢献している。また、積雪の多い地域であることから、早朝から階段やスロープ、歩道の除雪を行い、施設利用者のみならず施設周辺等の歩行者の安全にも配慮した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設を快適に利用できるよう保守点検や清掃を実施し、安全で衛生的な状態が維持されている。また、リサイクルに積極的に取り組んでおり、併設施設とともに意識の向上を図っている。リサイクル率は57.7%と高く、割り箸やペットボトルキャップの分別も昨年度から継続して行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	施設職員と常駐業者の打合せを毎日実施し、館運営に関する情報共有を綿密に行うことで、円滑な運営に取り組んでいる。施設利用経験の少ない利用者に常設のご意見箱やアンケート調査に限らず、利用時に記入する「ご意見カード」の配布によって、より気軽に意見を出せる環境づくりに取り組み、利用者の利便性向上につなげている。	28/28
V 施設固有の基準	令和3年度中止となった宮城地区まつりの代替イベントにおいて、事前準備や設営、イベント開催中は施設職員全体で作業を手伝ったほか、施設で所有するイルミネーションを自ら設置して会場を盛り上げるなど、積極的に地域の活性化に関わっている。また、様々な併設施設との連携事業を実施し、子ども達の情操教育に貢献するとともに、普段ホールを利用しない層にもホール用途の幅広さをアピールする機会になっている。	6/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>【施設の使用許可等について】</p> <p>指定管理者として条例等を遵守し、施設の使用許可にあたっては公平・公正に取り扱い、個人情報については貴市・財団それぞれのセキュリティポリシーを遵守するなど、適切に管理しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づき、施設使用料の還付や減免手続きなど、改訂毎の運営方法や諸手続きを遵守するとともに、ご利用の皆様への積極的な情報提供に努めました。</p> <p>【施設維持管理に関する取り組み】</p> <p>定期的な巡視を行い、事故防止や危険箇所の早期発見等に取り組みました。令和4年2月の震度5の地震発生時には、速やかに職員が参集し、敷地及び施設内の破損等の点検や必要に応じた調整を施すとともに、貴市及び運営団体には速やかに状況報告を行い、修繕を要する箇所についても点検業者の協力のもとで迅速に緊急修繕を完了し、通常開館につなげました。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策としては、ドアノブや手摺りなどの消毒を徹底し、手指用及び物品用消毒液や加湿器を常設するなど、安全面に配慮して運営しました。</p> <p>【自主事業について】</p> <p>運営団体30周年記念事業の「広瀬から創ろう!!ブロードウェイ!!～パフォーマンス集団「白A」と一緒に～」や、併設施設連携事業の映画会「ワクワクシアター」と演劇「飛び出す紙芝居 劇場版「アーリー博士とレイト怪人」」等の事業については、整理券を配布し回収することで、来場者数の管理や緊急連絡先の把握につなげ、演劇にあっては感染状況を考慮し開催日を変更するなど、万が一に備えて開催しました。</p> <p>また、「MIYAGI イルミネーション PLUS～ありがとうを伝えよう～」など、地域イベントへの協力も積極的に行いました。</p> <p>一方、「サマーナイトコンサート」及び「広瀬のひびき」は中止となりましたが、今後、実施方法を工夫するなどし、再開できるよう取り組みます。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の運営や維持管理について、条例を遵守して適切な管理運営が行われている。利用者が安全に利用できるよう定期的な巡回や点検を実施するだけでなく、施設周辺の歩行者等の安全にも配慮した整備を行っている。施設全体で環境美化の意識向上を図り、紙や割り箸、ペットボトルキャップを積極的に回収し、高いリサイクル率を維持している。また、施設職員はシフト制で勤務しているため、施設関係者間の打合せで運営に関する情報共有を綿密に行い、担当職員が不在の際でも円滑に運営することができている。さらにアンケートや意見カードを活用して利用者の意見やニーズを幅広く把握し、物品の更新や施設整備を実施したり、新型コロナウイルス感染症の影響による運営状況の変化を積極的に周知したりするなど、利用者の利便性や満足度の向上につながるサービスを提供している。</p> <p>自主事業や地域との関わりについて、地域唯一の劇場型ホールとして地域の文化芸術活動を支援し、その向上に寄与している。「マイギャラリーinひろせ」「マイステージinひろせ」事業では、館内のフリースペースやミニステージを地域住民の文化芸術活動の発表の場として提供し、地域の交流促進の場としても役割を果たしている。また、併設施設と連携して各施設の特性を活かした事業を企画実施し、地域の子どもの情操教育に貢献しているほか、地域のイベントでも積極的に手伝いや支援をし、会場の盛況や地域の活性化に助力している。自主事業の実施に際しては、新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、適切な実施判断、開催方法の検討が行われており、来場者の安全に配慮した運営をしているといえる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：青葉区宮城総合支所まちづくり推進課